

(陳受6第6号)

武蔵野市の路面下空洞調査に関する陳情

受理年月日

令和6年6月7日

陳情者

吉祥寺本町1-35-1
株式会社 丸二
代表取締役 渡辺 偕規

陳情の要旨

現状、武蔵野市における路面下空洞調査状況については、5年に一巡するスケジュールで1.5メートルほどの深さをレーダー調査し、路面下に空洞がないかを調査されているものと思いますが、5年に一巡で1.5メートルほどの深さをレーダー調査するのみではさらに深い部分に存在する空洞について確認ができず、重大な事故を招きかねません。実際に、令和3年11月、東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目4番先の道路において、道路上をゴミ収集車両が走行した際に、道路が陥没するという事故が生じております。市の立会いの下、当社が路面下空洞の調査をしたところ、陥没した箇所に隣接した道路下に既存の大きな空洞（奥行き2メートル・深さ5.5メートル以上）が確認されました。また、当社の調査によると、陥没事故箇所の体積は約128立方メートルと考えられるところ、事故によって工事現場に流入した土砂の量は約89立方メートルと考えられますので、もともと事故現場の道路下に約39立方メートルの空洞があったことが推察され、道路陥没事故は既存の空洞が存在したために起きた可能性があります。さらには令和4年4月25日、武蔵野市八幡町2丁目伏見通りでも道路陥没事故が発生しており、いまだに原因不明な状況です。

このような状況を踏まえ、事前の十分な調査の下、安心・安全な道路環境を維持・整備し、上記のような事故を二度と起こさないためにも、武蔵野市に対し、路面下空洞調査において現状よりもより深く、頻度を上げてレーダー調査を実施し、空洞の有無を確認する等、調査手法の強化を求め、陳情します。